2021年6月議会　一般質問　全体　太田

　日本共産党の太田とおるです。通告に従って一般質問を行います。

○新型コロナ対策について

　ワクチン接種についてです。

　全国的に様々な問題が起きていますが、寝屋川市の現状をお聞きします。

　まずは予約状況についてです。当初の予算説明では対象者の7割が接種するとの計画でしたが、全体として、当初計画より接種率が高くなって来ていると伺っていますが、現在までの接種率をお示しください。また、医師・看護師等の確保など問題はないのか。現在までのワクチン接種券の発送件数と予約件数を1回目、2回目、集団接種、個別接種と大阪の集団接種会場と分けてお示しください。

　また。高齢者からは予約がとれない。電話がつながらないとの苦情も聞いていますが市の対応を時系列にそってお答えください。コールセンターの対応件数、予約数、一件当たりの対応時間、稼働件数は本当に妥当だったのか、市の見解をお示しください。

　2回目のワクチン接種予約については当初、集団接種については1回目の接種が終わると自分で2回目の接種予約を取るとされていました。個別接種では各医院で1回目2回目の予約を併せて行っていたようです。問題は集団接種の2回目の予約です。6月に入ると集団接種会場で2日目の予約が取れるようになったと聞きましたが、さらに予約の枠がなく現地で予約ができずに再度、自分で予約を取ってくださいといわれたと市民からの問合せもあり、また、最近では現地で一週間後くらいに市から2回目のワクチン接種の日時が指定されて送って来るとの説明もされています。寝屋川市において2回目のワクチン接種についてどのような経過を経て、現時点でどのように対応されているのかお示しください。また、市民への周知はどのように行われているのかも併せてお示しください。

　次に障害児者へのワクチンの接種についてです。持病があり、かかりつけ医での接種が基本となるようですが、かかりつけ医が接種を行っていなかったりすると集団接種会場での接種になりますが、集団接種会場では対応が難しい方もおられます。障害者作業者などへの訪問してのワクチン接種など具体的に市として関係者と協議の上検討が必要と考えます。市の見解をお示しください。

また、家庭で介護を担っている方は、副反応による高熱などで寝込むと介護ができなくなるため事前にショートステイなど対応策をとってから予約を入れることになります。ところが、ショートステイの予約は1ヶ月前に入れる必要があり、寝屋川市のワクチンの集団接種の予約は直近1.2週間しか対応していなくて困っているとも聞いています。大変きびしい中で行っているとは思いますが、困難な市民へ柔軟な対応を求めます。市の見解をお示しください。

　次に65歳未満への接種券の発送の前に寝屋川市では学校・保育所等で働く人へのワクチン接種を行うとされていますが、現在の進行状況をお示しください。

　ワクチンの集団接種会場となっている小学校の体育館がかなり暑くなって来ています。中学校の体育館へ場所の変更がされますが、中学校の体育館でも換気のために窓や扉を開けたままの運用となります。エアコンの能力は足りるのか、しっかりと準備と検証を行うことを求めます。市の見解をお示しください。

　多くの高齢者は基本的に地元の医院や小学校での接種になっていると思いますが、現時点でのタクシーの利用状況をお示しください。また、ワンメーターを超えた利用件数も併せてお示しください。タクシー事業を知った高齢者からは高い評価を得ていますが、高齢者の認知度は残念ながら低いように感じます。一回目の接種会場での広報など更なる周知を求めます。市の見解をお示しください。

　次に、中学生、高校生へのワクチン接種です。国はファイザー社のワクチンの対象者を12歳以上と対象年齢の引き下げを行いました。市が発送を予定しているワクチン接種券の発送対象は何歳までか。子どもへのワクチン接種はまだまだ賛否が分かれているように思えますが、保護者・本人が考え接種するかしないかを判断できるように市として体制を整えることを求めます。市の見解をお示しください。

　次に、ワクチン接種券の有効期間についてです。様々な事情で今はワクチンを打たないと判断をした方が、来年、ワクチンの接種を希望した場合、いつまで無料で受けることができるのか。いつまで集団接種会場が設けられる予定となっているのか。個別接種はいつまで行う予定なのか。今後の見通しをお示しください。市の見解を求めます。

　新型コロナ対策において今市民が一番知りたいのがワクチンの接種状況です。年齢別の接種券の発送など市民に寄り添った対応を評価しています。さらに分かりやすい市民への周知を求めるものですが市の見解をお示しください。

　次に、社会的なPCR検査の実施についてです。寝屋川市ではコロナ陽性者が出た場合に広く対象者をとってPCR検査を行い感染拡大防止に取り組んでいることを高く評価しています。そして、この間、高齢者施設から学校・保育所の職員に至るまで月に2度のPCR検査を行っていることを高く評価しています。そこで、ワクチン接種が進む中で、ＰＣＲ検査を拙速に中止をすることがないように求めます。先日静岡市の高齢者施設で1回目のワクチン接種が終わっていたのに、クラスターが発生したとの報道もあり、2回のワクチン接種で抗体ができるとされる期間を過ぎるまではしっかりと社会的なPCR検査を続けるように求めます。市の見解をお示しください。

　お隣、四条畷市では500円で希望する市民がPCR検査を受けられるようにする施策が始まりまると聞いています。ワクチンの接種が希望者全員にいきわたるまでにはいつでもどこでも何度でも無料でPCR検査を受けることができて、無症状の感染者を発見し、隔離して感染拡大を防ぐことは今でも重要です。市として、全市民を対象としたいつでも、どこでも、無料でできるPCR検査の実施を求めます。市の見解をお示しください。

　次に小中学校。教育施策についてです。

　先の議会で小学校の体育館に冷風機を設置する予算が可決されました。小学校の体育館は現在コロナワクチンの集団接種会場となっていましたが、集団接種時には間に合いませんでした。7月からは、集団接種の会場はエアコンのある中学校の体育館に変更になります。これは、単純に体育館が暑くて使用に耐えないからだと考えます。そこで子どもたちが体育をする小学校の体育館への冷風機の設置の進捗状況をお示しください。そして、設置前、設置後の体育館の状況の報告を求めます。市の見解をお示しください。

今年度は、小中学校でのプール指導も全面中止となりました。夏季の体育授業については特段の配慮が求められると考えています。そこでお聞きします。屋外での体育の中止の基準、体育館でのエアコン使用、冷風機使用の基準、体育授業中の水分の補給の基準、マスクの着用の基準をお示しください。保護者は、コロナ下での学校生活に、体育に不安も持っています。しっかりとした情報公開と周知を求めます。市の見解をお示しください。

昨年は、小学校の教室で換気を行いながらエアコンを使う中で、室温が30度を超える事態が発出しました。今年度は小中学校共に最上階の普通教室には冷風機の設置が行われます。現在の設置状況と稼働状況、教室の室温と併せてお示しください。

〇　少人数学級について

コロナ禍によって、2020 年３月、突然の臨時休校。６月からの学校再開。分散登校 を経て、密の中マスクを付けての学習。学校行事の中止、夏休みの短縮、給食でのおしゃべりの禁止、 さらに週に何回かの７時間授業が行われました。2021年度になって7時間授業はなくなりましたが、三度目の緊急事態宣言が発令されて、子どもたちは、集団の中で育つことができず、ストレスを抱えて学校生活を送っているのではないでしょうか。

 今、コロナ禍で、学校に求められているのは、身体的な「３密」を避けつつ、子どもの声に耳を傾け、寄り添そえる体制づくりではないでしょうか。そのためには、一番の環境整備として少人数学級の推進が求められています。国・大阪府に対しても早期実現を求め、市として、小中学校の全学年で早期に35人学級を今こそ実施すべきです。

当初、市は財政調整基金を使っても新型コロナ対策を行う姿勢を見せていました。国からの交付金が下りてくる中で市単費でのコロナ対策は財政的には抑えられています。35人の少人数学級は国が5年計画で行うことを決めていますので、市が前倒しで行っても、永遠と持ち出しが続くわけでなく、総額が決まった中での事業となります。新型コロナ下でストレスを抱えている子どもたちに少人数学級をプレゼントしてください。市の見解をお示しください。

〇子どもたちへのコロナの影響について

2020年に全国で自殺した児童生徒の数が前年比で約4割増の479人に上り、過去最多だったことが[文部科学省](https://www.asahi.com/topics/word/%E6%96%87%E9%83%A8%E7%A7%91%E5%AD%A6%E7%9C%81.html)のまとめで分かりました。小中高校生のいずれも増え、特に女子高校生は138人と倍増、コロナ下の長期休校が明けた6月や8月が突出して多かった。うつ病などの悩みが増える傾向にあり、[文科省](https://www.asahi.com/topics/word/%E6%96%87%E9%83%A8%E7%A7%91%E5%AD%A6%E7%9C%81.html)は相談窓口など精神的なケアの態勢を強化する。との報道がありました。

寝屋川市としてコロナ禍の子どもたちへの影響をどのように把握しケアを考えているのか。小中学校におけるいじめや不登校の数の推移など様々な角度から子どもたちを守る体制作りを求め市の見解をお示しください。

新型コロナ禍における子どもとの向き合い方について保護者に向けてWHOやユニセフからも世界中の保護者に向けてメッセージが発信されるほどの事態となっています。

寝屋川市教育委員会としても子どもや保護者に向けて分かりやすいメッセージの発信が求められていると思いますが、市の見解をお示しください。

　次に国民健康保険についてです。

　当然のことながら一般のサラリーマンは社会保険に加入しますので、国保加入者の多くは非正規雇用の市民が多くなりますし、定年退職した高齢者、商売人が多くを占めます。

　そんな中で新型コロナの影響による収入減少は、商売人、非正規雇用の市民に大きく表れています。昨年は新型コロナの影響による減免制度が国の制度として実施されました。前年度より収入の3割減少が対象となりました。そして今年もコロナ減免が行われますが、昨年と同様に前年収入から3割減が対象となっています。昨年すでにコロナの影響で大きく収入が下がっている中で、更に3割の収入の減少を対象とするのはあまりにも制度としてひどくありませんか。国の様々な制度の中にはコロナ前の収入からの減少を対象とした制度もあります。まず、最初に国に対して国保料のコロナ減免の比較対象収入をコロナ前とするよう声をあげてください。市の見解をお示しください。そして、市の独自減免ではコロナの影響による収入減はコロナ前の収入との比較で減免を実施するように求めます。市の見解をお示しください。

　今年度は、緊急事態宣言下での国保料の納付書の発送となりました。そこで、市の独自減免について、過去の利用者に対して減免申請用紙を郵送したことは高く評価しています。国保加入者の高齢化や窓口の混雑・密を避けるためにも今後もぜひ続けて頂きたいと考えますが、市の見解をお示しください。

　マイナンバーカードの保険証利用について、国は今年の春からマイナンバーカードの保険証利用ができると準備を進め広報してきましたが、様々な不備により今年10月からの運用となりました。様々な情報が錯綜する中で、一部市民の方から、マイナンバーカードが保険証になる。カードの申請していないが大丈夫かとの相談を受けることもあります。寝屋川市の国保において保険証の送付が例年どおりに行われることを市民へしっかりと周知をして頂きたいと考えますが、市の見解をお示しください。

　マイナンバーカードを利用した健康保険証サービスの具体的な進行状況をお示しください。マイナンバーカードの利用は個人が自由に選択をすることが個人情報の観点からも基本だと考えます。今回のように、市民、市内医療機関へマイナンバーカードの保険証利用を理由にマイナンバーカードの取得を誘導することがないように求めます。市の見解をお示しください。

　次に介護保険についてです。

新型コロナウイルスの影響で全国に緊急事態宣言が出されたことにより、介護事業所は事業の自粛や感染拡大予防策の徹底など、様々な対応に追われています。一般社団法人全国介護事業者連盟が4月2日から4月10日の間に行ったアンケート「新型コロナウイルス感染症に係る 経営状況への影響について『緊急調査』）」によると、全国の介護事業所のうち実に49％の事業所が「新型コロナウイルスにより経営に影響が出ている」と答えています。

さらに、「影響を受ける可能性がある」と答えた事業所は44％にのぼります。すでに影響が出ている事業所と合わせて93％の事業所に何らかの影響を及ぼしているとの結果になっています。

全国的なアンケート結果ですが、寝屋川市内の事業所も同様の状態に置かれているのではないでしょうか。

介護事業者に影響を及ぼしているのは、コロナの影響による利用控え、コロナ対策による衛生管理などのコスト増、そして、介護職員の確保がより難しくなっていることがあげられています。

そこでお伺いします。寝屋川市では市内、介護事業者の実態調査などコロナ禍の影響について把握はされているのでしょうか。市の見解をお示しください。

高齢者が自宅からでなくなることで要介護度が悪化している傾向があるとの報道もあります。実際に市民からは訪問介護や訪問リハビリなどコロナへの感染リスクを考えてサービスを控えて体調が悪くなったとの話も聞いています。

順調にワクチン接種が進めばまた、高齢者が安心して訪問介護やデイサービスなどを利用始めるとは考えられますが、それまで介護事業者の運営が持つのか。市として実態を把握するとともに、高齢者の生活環境を守るためにも市内介護事業者が廃業することがないように手立てを講ずること求めます。市の見解をお示しください。

そして、国のコロナ禍における介護事業者への特例措置の説明など十分な周知とコロナ対策を行う介護事業者へ市としての支援の検討を改めて求めて市の見解をお示しください。

次に、介護保険料、利用料の減免についてです。

新型コロナ対策で介護保険料も生計維持者が死亡または重篤な状況になった時。又は、前年収入より3割収入等が減少でした場合に減免を受けることができる制度が国で作られました。ここでも、すでにコロナの影響は2年近くになっており、前年所得はコロナの影響ですでに落ち込んでいる人も多く、そこからさらに3割の減少というのは現実的ではありません。せめてコロナの影響が出ていない。一昨年のとの比較など他のコロナ施策で一部行われているように、収入等の比較対象年度を変えることを国に求めてください。市の見解をお示しください。その上で寝屋川市は、介護保険料の市独自の減免制度を持っています。今年度はコロナによる収入減少にも対応した取り扱いを求めますが、市の見解をお示しください。

　次に介護給付費準備基金についてです。国の説明では、市町村は、介護保険に係る歳入及び歳出について特別会計を設けることとなっている。介護保険は、３年間の計画期間ごとにその期間を通じて同一の保険料を、介護サービスの見込量に見合って設定するという中期財政運営方式を採用しており、介護給付費が総じて増加傾向にあることから、計画期間の初年度は一定程度の剰余金が生ずることが想定されていて、この剰余金を管理するために市町村は介護給付費準備基金（以下「準備基金」という。）を設けることができるとされている。
　そして、介護給付費が見込みを下回るなどの場合は剰余金を準備基金に積み立て、介護給付費が見込みを上回るなどの場合は、前年度以前に積み立てられた準備基金から必要額を取り崩し、計画期間の最終年度において残高がある場合には、次期保険料を見込むに当たり準備基金を取り崩すことが基本的な考え方となっている。と示しています。

この間寝屋川市では、介護保険給付準備基金が全額取り崩されたり、残額を残したりと様々な取り扱いがなされてきていますが、市として国の見解に沿った運用をすることが基本となっているのか。市として独自の基準が設けられているのか。市としての基本的な見解をお示しください。

　そして、第8期の介護保険料の算定にあたっては約15億3千万円の準備基金残高に対して8億円の準備基金取り崩しとなっています。全額取り崩せば基準月額でさらに約300円の引き下げができたのではないかと考えますが、市の見解をお示しください。

　第8期の介護保険料の決定にあっては、当初の計画で示された基準月額より引き上げが抑制されたことは、一定評価しています。しかし、準備基金の性格を考えると違和感は否めません。そこで、現在ある基金を活用した、介護保険料・利用料の減免制度の拡充・創設をすることはできないでしょうか。せめて、国のコロナ減免の基準から外れる方を対象に、コロナ下での高齢者の生活を守るための制度の創設を求めます。市の見解をお示しください。

〇その他について

〇　対馬江大利線事業における安全対策について

対馬江大利線事業も寝屋川市駅前の橋の架け替え工事が始まりました。一部通行止めになるなど今までにない交通形態に戸惑う市民も多くみられ、危険な状況が見受けられます。そこで質問しますが、現在工事時間中には交通誘導員による安全確保が行われていますが、交通量の多い通勤時間帯などはまだ工事が始まっていないために交通誘導員がいない状況です。しかし、交通形態が変わり危険な状況に変わりがありません。工事が終わり安全に交通できるまでは、交通量の多い時間帯は工事の有無にかかわりなく交通誘導員の配置が必要と考えますが、市の見解をお示しください。また、信号機が見にくい状況もあります。警察と協議の上改善を求めます。市の見解をお示しください。

〇　寝屋川公園駅西側広場について

寝屋川公園駅の西側広場の整備も多くの市民が待っています。その上で西側へのエレベーター・エスカレーターの設置などJR西日本との協議がどのようにすすんでいるのかお示しください。またロータリーを作るにあたって立ち退きを強いられる市民に対しては丁寧な対応を求めますが、現在の進捗状況と併せてお示しください。

以上で私の一般質問は終わります。再質問のあるときは自席にて行います。ご清聴ありがとうございました。